



データベースによる文献調査

～効率的な文献の探し方～

文献調査から文献収集、論文作成へ

先行文献・最新文献の所在調査

読みたい資料が確定している

- ・ 授業で指定された文献を読む
- ・ 参考文献リスト (References) を手がかりに探す

テーマから探す

- ・ インターネットを使う
- ・ データベースで探す

自分の目的にあったデータベースを選択する

- ・ どんなデータベースがあるのか？
- ・ どのデータベース(複数)を使うか？

学術的キーワードを得る

- ・ 検索キーワードの選び方
- ・ 検索式の立て方

【Point】

- キーワードを広げる
- 複数のキーワードを組み合わせる
- 専門用語の言い換えなど

検索結果文献から必要なものを選び出す

文献調査を GACoS から始めてみましょう。

～キーワード～

教育学、教育学、学習理論、ハンズオン、コミュニケーション、異文化コミュニケーション、メディアリテラシー、情報リテラシー、教育メディア、CSCL、e-learning、hands-on、information literacy、media literacy など



GACoS

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/>

～日本語の文献を探す～

[演習 1]

東京大学 OPAC (<http://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp>) で探す

- 1) 佐伯胖, マルチメディアと教育 : 知識と情報, 学びと教え, 東京, 太郎次郎社, 1999, 210p
- 2) 日本学術会議教科教育学研究連絡委員会 編, 新しい『学びの様式』と教科の役割, 東洋館出版社, 2001, 205p
- 3) 平山満義, 質的研究法による授業研究 : 教育学/教育工学/心理学からのアプローチ, 京都, 北大路書房, 1997,311p

得られたキーワード : 学習指導、教授法、教育研究

[演習 2]

ブックコンテンツ・データベース (<http://contents.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/top/>) で

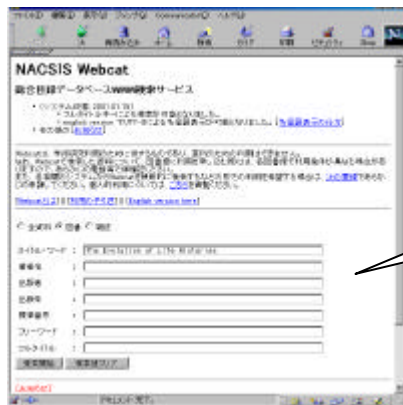
「教育工学」あるいは「学習指導」をキーワードに検索してみる。

[演習 3]

Roff, D.A. The Evolution of Life Histories; Theory and Analysis (Chapman & Hall, New York, 1992). の所在を調べる。



該当の図書がヒットしない。(東大では所蔵していない?)



NACSIS Webcat で他大学の蔵書を検索します。

[演習 4]

FELIX データベースの雑誌記事索引で
(<http://felix.dl.itc.u-tokyo.ac.jp>)

で、「教育学」「コミュニケーション」をキーワードに日本語で書かれた論文・記事を探してみる。



FELIX データベース
<http://felix.dl.itc.u-tokyo.ac.jp>

[演習 5]

雑誌記事索引データベースを使って

- 1) 「教育工学」に関するキーワードを 2 つ以上組み合わせて関連論文を検索する
- 2) 山内先生の書かれた論文を検索してみる

【Point】データベースの検索テクニック (FELIX データベースに関して)

・複数のキーワードを使う場合

論理演算		
and	& の記号を使う	ex. 教育工学 & ハンズオン
or	の記号を使う	ex. 教育工学 教育学
not	! の記号を使う	ex. 教育工学 ! 学習理論

・著者名 (日本人) による検索をする場合

姓と名の間はスペースを空けてキーワード入力をする。
旧漢字体は常用漢字に置き換わっているので注意が必要！！
ex. 蓮実 重彦を検索キーとする。蓮實 重彦では検索できない

～英語の文献を探す～

英語でのキーワードの習得

e-learning / hands-on / information literacy / media literacy

どのデータベースを使うか？

[FELIX] 論文タイトル中のキーワードや著者名などから検索

- ・ SwetScan (1995～)
- ・ PCI: Periodicals Contents Index (1800～1990)

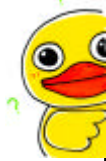
[演習 6]

FELIX データベースを使って「hands-on」をキーワードにした検索をする

[Web of Science] (1980～) 論文テーマや著者名などから検索

引用文献検索が可能

”この文献を引用している文献は？”



【Point】データベースの検索テクニック（英語論文）

information literacy

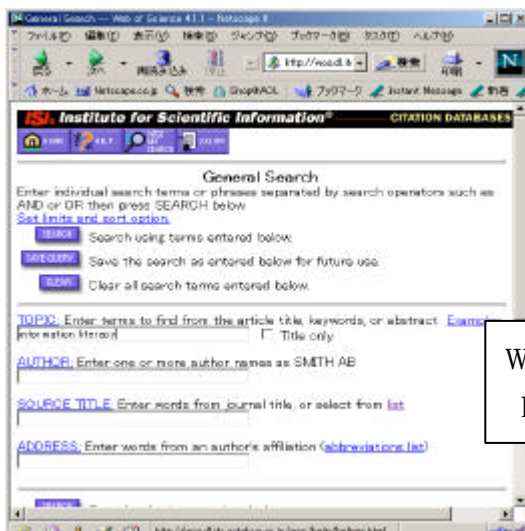
information and literacy

(information or media) and literacy

上記3つの検索式での検索結果の違いは？

[演習 7]

Web of Science を使って、3つの検索式による検索結果の件数を調査する。



Web of Science
<http://wos.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/wos/CIW.cgi>

【Point】データベースの検索テクニック（Web of Science に関して）

論理演算	
and	and
or	or
not	not
トランケーション	
*（アスターリスク）	0 または 1 文字以上
?（クエスチョンマーク）	1 文字以上

[演習 8]

次の文献を探す

Gordfield, Eugene, C. The development of control over complementary systems during the 2ND year, *Infant behavior and development*, 6: (3) 257-262 1983

[演習 9]

「e-learning」をキーワードにして、30 回以上引用されている文献を検索する

[演習 10]

次の文献を探す

Lane, Wendy G; liu, Gilbert C; Newlin,Elizabeth PREVENTION IN PEDIATRIC CARE – The Association Between Hands-On Instruction and Proper Child Safety Seat Installation. *Pediatrics – English Edition*. 106(4)2 924-929,2000.

電子ジャーナルの活用

- ・ すぐその場（パソコンの画面上）で読める



その他いろいろな文献を調査する

- 1) 新聞記事の全文検索・・・記事の全文までコンピュータ画面上で読める！

- ・ 朝日新聞

- 2) 統計情報

- ・ 統計リンク集
- ・ 総務省統計局統計センター





Coffee Break



統計数字は参考にはしつづも、うのみにはない方がいい。

例えば、昨年11月の完全失業率は増去最悪の5・5%で完全失業者は350万人。この数字は一定の指標にはなるが、潜在失業者ははるかに多いと受け止めることが必要なのだ。

興味を引かれたのは昨年末、JTBがまとめた年末年始の旅行動向予測である。

それによると、海外旅行は前年比33%減と同じ方式で調査している87年以降で最大の落ち込みとされた。「9・11米同時多発テロ」の影響による国内回帰である。

結果はどうか。JTBが今月7日に発表した12月22日～1月6日の国内の航空14社の利用者は国際線が前年比で15・8%減、国内線は横ばい。一方、JRグループ旅客6社のまとめでは新幹線など主要50区間の利用者は前年同期比2%増。JR各社は「帰省客のほか温泉地など国内旅行の利用者が多かった」と分析した。

確かに国内に旅行客が戻ってきたには違いないが、ここで観光地が潤ったと早合点してはいけない。

山梨県の石和温泉旅館組合(48社加盟)関係者の話。

「なるほど海外断念組の受け皿となって年末年始の宿泊は好調でしたが、団体客が減って家族や5～6人の小グループ中心のため売り上げ増には結び付かないんです」

正月三が日の初詣に至っては過去5年間で最低となった。漢字1字で「戦」の01年から年が改まっても、寝正月でしつと醒えたということか。長く不況の中、あまりに寂しい国内回帰の現実である。(甲府支局)

統計数字のウラ



越川 健一郎

(統計数字のウラ 毎日新聞 2002/1/12 2面)

3) インターネット上の情報

IRI 学術情報サイトのみを登録したインターネット検索サイト



各データベースのマニュアルは・・・

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/manual/> から入手できます。

資料1 参考文献(References)リストから文献調査

著者がどこからデータを取り、または考えを深める情報を得たかということを追跡する事ができる

References

1) Judith Axler Turner, "Scholars Weigh Library's Role in Collecting Computerized Research Data," C H Ed32(16 July 1986): 34.

2) 今野 喜清、柴田 義松 編著、1979、教育学講座7「教育課程の理論と構造」、学習研究社、327pp.

3) M.Sudan, L.Trevisan, and S. Vadhan., Pseudorandom generators without the XOR lemma., In Proceedings of the 31ST Annual ACM Symposium on Theory of Computing, Page 141-148, 1999.

〔雑誌〕

著者名・論文名・誌名・巻数,号数,出版年,はじめのページ - おわりのページ .(言語の表示)
(媒体表示)

〔図書〕(1冊を参照)

著者名・書名・版表示・出版地,出版者,出版年,総ページ数, (シリーズ名,シリーズ番号).(I S B N)(言語の表示)(媒体表示)

〔図書〕(1章または一部を参照)

著者名・章の見出し・書名・版表示・出版地,出版者,出版年,はじめのページ - おわりのページ, (シリーズ名,シリーズ番号).(I S B N)(言語の表示)(媒体表示)

【Point】

英文雑誌の略名は「Peripdical Title Abbreviations : By Title」で確認